A

ACS
URL、設定 3-8
URL、ディスカバリ 2-7
定義 3
API、定義 1

B

BAC の使用方法
グループ、管理
関連付け、関連付け解除 16-22
削除 16-22
修正 16-22
詳細、表示 16-23
追加 16-21
サーバ、表示
DPE の詳細 16-24
RDU の詳細 16-28
プロビジョニング グループの詳細 16-26
デバイス、管理
関連付け、関連付け解除 16-14
コントロール 16-7
削除 16-13
修正 16-12
詳細、表示 16-9
説明 16-11
追加 16-12
命令の再生成 16-13
ユーザの管理
削除、ユーザ 16-4
修正、ユーザ 16-4
新規ユーザの追加 16-3
BAC の設定
CWMP サービス
DPE ポート 12-2
RDU 拡張、管理
新しいクラス、作成 17-20
カスタム拡張ポイント、インストール 17-20
表示 17-21
カスタム プロパティ 17-7
サービス クラス
削除 17-5
修正 17-4
追加 17-3
接続要求 12-3
ディセーブル化 12-7
到達可能性 12-7
認証 12-4
方式、discovered 12-5
方式、use FQDN 12-5
方式、use IP 12-5, 12-6
デバイス データの検出
説明 12-8
パラメータ 12-9
デバイス履歴
イネーブル化、ディセーブル化 8-4
エントリ数 8-5
表示 8-5
デフォルト
CWMP 17-8
RDU 17-10
システム 17-11
設定オプション、選択 17-8
ファイル、管理
エクスポート 17-17
削除 17-17
置換 17-16
追加 17-15
表示 17-16
プロビジョニング データ、パブリッシング
データストアの変更 17-22
プラグイン設定、変更 17-22

ライセンス キー　17-18?17-19
ライセンスの修正　17-19
ライセンスの追加　17-19

C

Cisco 11500 Content Services Switch
「Cisco CSS」を参照
Cisco CSS、設定　12-14
CPE 管理
「デバイス管理」も参照
CPE パラメータの検出　4-5
デフォルト パラメータ（表）　4-5
概要　4-1
デバイス構成同期　4-7
デバイス配備オプション　4-9
Preregistered　4-9
Unregistered　4-9
認証　13-15
外部ロード バランサ、設定　13-19
共有秘密情報、設定　13-16
クライアント証明書、設定　13-18
使用可能なオプション　13-19
プロビジョニング グループへのデバイスの割り当て　4-13
自動的　4-13
明示的　4-13
明示的および自動的なアプローチ　4-14
命令の生成、および～　4-6
CWMP
説明　1-4
定義　1
CWMP サービス、設定
DPE 鍵ストア、keytool の使用　13-4
keytool コマンド　13-6
既存の署名付きサーバ証明書、インポート　13-5
クライアント認証の証明書、インポート　13-11
サーバ証明書および秘密鍵、生成　13-7
自己署名証明書、表示　13-8
証明書署名要求、生成　13-9
署名機関証明書を cacerts へ、インポート　13-10
署名付き証明書、検証　13-9
署名付き証明書をサーバ証明書へ、インポート　13-10
DPE ポート　12-2
SSL、設定　13-4
セキュリティ
鍵と証明書の管理　13-3
説明　13-2
接続要求　12-3
ディセーブル化　12-7
到達可能性　12-7
認証　12-4
方式、discovered　12-5
方式、use FQDN　12-5
方式、use IP　12-5, 12-6
デバイス データの検出
説明　12-8
トラブルシューティング　12-10
パラメータ　12-9
認証について　13-2

D

Discovered 接続要求　12-5
DPE（Device Provisioning Engine）
dpe.log ファイル、表示　19-9
RDU の同期　2-5
SSL
CWMP サービスの設定、例　13-14
HTTP ファイル サービスの設定、例　13-15
設定　13-13
説明　13-13
デバイス認証、設定　13-15
デフォルト（表）　13-13
認証オプション　13-19
アラート メッセージ　11-3
鍵ストアの設定、keytool の使用　13-4
既存の署名付きサーバ証明書、インポート　13-5
クライアント認証の証明書、インポート　13-11
サーバ証明書および秘密鍵、生成　13-7
自己署名証明書、表示　13-8
証明書署名要求、生成　13-9
署名機関証明書を cacerts へ、インポート　13-10
署名付き証明書をサーバ証明書へ、インポート　13-10
技術のワークフロー チェックリスト
CWMP サービス（表）　3-5

HTTP ファイル サービス（表） 3-7
コマンドライン インターフェイス 9-4
コンポーネントのワークフロー チェックリスト（表） 3-2
サーバ、監視 11-12
状態 2-6
説明 2-4
定義 1
デバイス障害 8-7?8-9
パフォーマンス統計情報、収集 11-14
runStatAnalyzer.sh ツール、使用 11-15
表示
現在登録されている DPE 16-24
ポート、設定 12-2
ライセンス キー 2-5
ロード バランシング
Cisco CSS、設定 12-14?12-21
DNS ラウンド ロビン、使用方法 12-12
ハードウェア ロード バランサ、使用方法 12-12

F

FQDN
Use FQDN、接続要求 12-5
定義 2

G

GUI（「管理者のユーザ インターフェイス」を参照）

I

IP アドレス
Use IP、接続要求 12-6
定義 1

N

NAT、定義 3

R

RDU（Regional Distribution Unit）
DPE の同期 2-5
アラート 11-2
拡張、管理
新しいクラス、作成 17-20
カスタム拡張ポイント、インストール 17-20
表示 17-21
技術のワークフロー チェックリスト（表） 3-3
コンポーネントのワークフロー チェックリスト（表） 3-1
サーバ、監視 11-12
詳細、表示 16-28
説明 2-4
定義 1
デバイス障害 8-7?8-9
パフォーマンス統計情報、収集 11-14
runStatAnalyzer.sh ツール、使用 11-15
ログ レベル ツール 19-6?19-8
現在のログ レベル、表示 19-8
使用方法 19-7
設定 19-7

S

Secure Sockets Layer
「SSL」を参照
SNMP エージェント
MIB サポート 11-5
snmpAgentCfgUtil.sh ツール
開始 11-8
コミュニティ、削除 11-8
コミュニティ、追加 11-7
設定、表示 11-10
通知タイプ、指定 11-10
停止 11-9
場所、変更 11-9
ホスト、削除 11-7
ホスト、追加 11-6
リスニング ポート、指定 11-9
連絡先、設定 11-10
説明 2-8
SSL
設定 13-4, 13-13
CWMP サービス、例 13-14
DPE 鍵ストア、keytool コマンド（表） 13-6
DPE 鍵ストア、keytool の使用 13-4?13-12
HTTP ファイル サービス、例 13-15
定義 2

T

TLS
「SSL」を参照
定義 2
TR-069、定義 2
Transport Layer Security
「TLS」を参照

V

VoIP、定義 2

あ

アーキテクチャ 2-1?2-8
DPE の説明 2-4
RDU の説明 2-4
ウォッチドッグ プロセス 2-8
エージェント
SNMP 9-5
ウォッチドッグ プロセス エージェント 9-2
概要 2-3
管理者のユーザ インターフェイス 9-3
コマンドライン インターフェイス 9-4
配備 2-2
プロビジョニング グループの説明 2-6
ロギング 19-3?19-4
アイコン、管理者のユーザ インターフェイス（表） 15-6
アラート メッセージ 11-1?11-4
アラート、定義 2
内容
DPE 11-3
RDU 11-2
ウォッチドッグ プロセス 11-4
メッセージ形式 11-1
暗号スイート
定義 2

う

ウォッチドッグ プロセス
アラート 11-4
エージェント、定義 2
コマンドライン、使用 9-2
説明 2-8, 9-1

え

エージェント、SNMP
BAC のアーキテクチャ、および～ 9-5
MIB サポート 11-5

か

概要
BAC の説明 1-1?1-4
機能と利点 1-2
構成管理 1-2
サポート対象の技術 1-4
スケーラビリティ 1-2
セキュリティ 1-2
デバイス診断およびトラブルシューティング 4-14
ファームウェア管理 1-2
鍵、証明書の管理 13-3
鍵ストア
cacerts について 13-3
keytool コマンド、使用 13-6
サーバ証明書について 13-3
サンプルのサーバ証明書 13-3
設定、keytool の使用 13-4
クライアント認証の証明書、インポート 13-11
サーバ証明書および秘密鍵、生成 13-7
自己署名証明書、表示 13-8
証明書署名要求、生成 13-9
署名機関証明書を cacerts へ、インポート 13-10
署名付き証明書、検証 13-9
署名付き証明書をサーバ証明書へ、インポート 13-10
カスタム プロパティ
概要 5-15
設定 17-7
監査ログ、定義 2
管理者のユーザ インターフェイス
ACS URL、設定 3-8
BAC のアーキテクチャ、および～ 9-3
アイコン（表） 15-6
アクセス 15-3

サーバ、監視　11-12
接続要求　12-5
設定　15-2
デバイス障害、表示　8-8
デバイスのプロビジョニング グループ、修正　14-8
デバイス履歴、設定　8-4
パフォーマンス統計情報、収集
イネーブル化、ディセーブル化　11-14
パラメータ辞書、管理　7-6
削除　7-7
置換　7-7
追加　7-6
表示　7-6
ログアウト　15-5
ログイン　15-3
HTTP 転送　15-3
SSL 転送　15-3

き

キャッシング、定義　3
共有秘密情報
設定　13-16
デバイス パスワード、変更　13-16
デバイス パスワード、修正　13-18
定義　3

く

クライアント証明書認証
概要　13-2
設定　13-18
繰り返し発生する障害
「デバイス障害」を参照
グループ、管理
グループ タイプ　16-20
削除　16-21
修正　16-21
追加　16-20
グループの関連付け、関連付け解除　16-22
削除　16-22
修正　16-22
詳細、表示　16-23
説明　16-21
追加　16-21

こ

構成履歴
「デバイス履歴」を参照
高度な概念
「ツールと高度な概念」を参照
顧客宅内装置、定義　3
コマンドライン インターフェイス
DPE、アクセス　9-4

さ

サーバ、監視
DPE
CLI、使用　11-12
管理者のユーザ インターフェイス、使用　11-12
RDU
管理者のユーザ インターフェイス、使用　11-12
SNMP エージェント　11-5
パフォーマンス統計情報の収集
perfstat.log について　11-14
runStatAnalyzer.sh ツール、使用　11-15
監視　11-14
サーバ、表示　16-24?16-30
DPE　16-24
RDU の詳細　16-28
サービス クラス
「サービス クラス」を参照
設定
削除　17-5
修正　17-4
追加　17-3
説明　4-3

し

事前登録されたデバイス　4-9
自動構成サーバ
「ACS」を参照
冗長性
地域別　12-11
ローカル　12-11
冗長性、定義　3

す

スキーマ（図）
設定 5-3
前提条件 5-10
パラメータ 5-5
パラメータ辞書 7-2

せ

セキュリティ
「CWMP サービス」を参照、設定
接続要求サービス
説明 12-3
ディセーブル化 12-7
到達可能性 12-7
認証 12-4
方式 12-5?12-7
Discovered 12-5
Use FQDN 12-5
Use IP 12-6
ワークフロー（図） 12-3
設定テンプレート
オーサリング 5-14
インクルード、使用方法 5-17
条件、使用方法 5-19
パラメータ代入、使用方法 5-16
管理者のユーザ インターフェイス、使用 17-13?17-17
機能 5-3
アクセス コントロール 5-8
前提条件 5-9?5-13
前提条件、スキーマ（図） 5-10
通知 5-7
パラメータ 5-5?5-6
パラメータ、スキーマ（図） 5-5
スキーマ（図） 5-3
設定ユーティリティ
使用方法 5-23
説明 5-23
テンプレート、追加 5-24
テンプレート構文、検証 5-25, 5-26
テンプレート処理、テスト 5-27, 5-28, 5-29
説明 5-1
テンプレート処理ファイル（表） 5-2, 6-4
設定のワークフローとチェックリスト
技術のワークフロー
DPE の設定（表） 3-5
RDU 設定、デバイス データの事前登録 3-4
RDU の設定（表） 3-3
プロビジョニング グループの設定 3-8
コンポーネントのワークフロー
DPE チェックリスト（表） 3-2
RDU チェックリスト（表） 3-1

ち

注
意味 xv
注意
意味 xv
項目
カスタム プロパティ、削除 17-7
ディスク容量の要件の数値 10-5
デバイスのトラブルシューティング 8-10
テンプレート ファイル、削除 17-17
評価ライセンス キーを使用したネットワーク展開 17-18

つ

ツールと高度な概念
deviceExport.sh ツール 18-2
disk_monitor.sh ツール 18-5
keytool ユーティリティ 13-4
RDU ログ レベル ツール 19-6?19-8
現在のログ レベル、表示 19-8
使用方法 19-7
設定 19-7
snmpAgentCfgUtil.sh ツール
SNMP エージェント、開始 11-8
SNMP エージェント コミュニティ、削除 11-8
SNMP エージェント コミュニティ、追加 11-7
SNMP エージェント、停止 11-9
SNMP エージェントの設定、表示 11-10
SNMP エージェントの場所、変更 11-9
SNMP エージェントのホスト、削除 11-7
SNMP エージェントのホスト、追加 11-6
SNMP 通知タイプ、指定 11-10

SNMP の連絡先、設定 11-10
SNMP リスニング ポート、指定 11-9
ウォッチドッグ エージェント ツール 9-2
設定ユーティリティ
実行 5-23
テンプレート ファイルの検証 5-25, 5-26
テンプレート ファイルの追加 5-24
テンプレート処理のテスト 5-27, 5-28, 5-29
ツールのリスト 9-5

て

ディスク領域、監視
ディスク領域の監視
disk_monitor.sh ツール、使用 18-5
データベースの管理
障害復元力について 10-2
ディスク容量の要件 10-5
対処方法 10-5
～に関する注意 10-5
場所、変更 10-9
バックアップと回復
回復 10-7
バックアップ 10-6
復元 10-8
ファイル 10-3?10-4
DB_VERSION 10-4
自動ログ管理 10-4
ストレージ 10-3
トランザクション ログ 10-3
履歴ログ 10-4
デバイス エクスポート
deviceExport.sh ツール、使用方法 18-2
デバイス オブジェクト モデル
概要 4-2
関連付け（図） 4-2
関連付け（表） 4-3
デバイス データの事前登録 3-4
デバイス管理
「CPE 管理」も参照
Manage Devices ページ 16-5
管理者のユーザ インターフェイス、使用方法
Devices メニュー 16-5
PING テストの実行 16-18
関連付け、関連付け解除 16-14
工場出荷時の設定にリセット 16-17
削除 16-13
サポートされる検索（表） 16-6
修正 16-12
接続の要求 16-17
設定同期化の強制実行 16-19
操作のタイムアウトの設定 16-19
追加 16-12
ファームウェア アップグレードの強制実行 16-18
命令の再生成 16-13
ライブ データの表示 16-17
リブート 16-16
コントロール 16-7
説明 16-11
デバイスの検索 16-9
デバイスの詳細、表示 16-9
デバイス障害
説明 8-7
デバイス診断
概要 4-14
構成履歴、表示 8-5
パフォーマンス統計情報、監視 11-14
runStatAnalyzer.sh ツール、使用 11-15
デバイス操作
サポートされている操作（表） 14-2
サンプル ファイル、アクセス 14-1
条件付き実行 14-5
接続モード
接続時 14-4
接続時のワークフロー（図） 14-4
即時 14-3
即時のワークフロー（図） 14-3
説明 14-1
デバイス プロビジョニング グループ、管理 14-6
修正 14-8
リダイレクト 14-6
デバイスのトラブルシューティング
設定 8-10
イネーブル化 8-11
ディセーブル化 8-11
トラブルシューティング モードのデバイスの表示 8-12
トラブルシューティング ログ、表示 8-12
説明 8-10
ログ エントリ 8-13
デバイス履歴
イネーブル化、ディセーブル化 8-4

エントリ数、設定　8-5
サポートされるレコード（表）　8-2
説明　8-1
表示　8-5
レコード、ロギング　8-6
デフォルト、設定
CWMP　17-8
RDU　17-10
システム　17-11
テンプレート
構成体
条件　5-20
設定　5-1?5-13
設定ユーティリティ
実行　5-23
テンプレート、追加　5-24
テンプレート構文、検証　5-25, 5-26
テンプレート処理、テスト　5-27, 5-28, 5-29
ファームウェア ルール　6-3?6-4
オーサリング　6-8?6-13
構成体　6-14?6-16
テンプレート ファイル、作成
テンプレート ファイルの定義　3

と

同期
Configuration Synchronization Instruction　4-7
Data Synchronization Instruction　4-6
DPE と RDU 間　2-5
デバイス構成　4-7
登録解除されたデバイス　4-9
トラブルシューティング
アラート メッセージ
DPE　11-3
RDU のアラート　11-2
syslog　11-1?11-4
ウォッチドッグ プロセス　11-4
メッセージ形式　11-1
サーバ、監視　11-12?11-13
デバイス
繰り返し発生する障害、表示　8-8
構成履歴、表示　8-5
データ検出　12-10
トラブルシューティング モードの　8-10
パフォーマンス統計情報の収集
perfstat.log　11-14
runStatAnalyzer.sh ツール、使用　11-15
監視　11-14

に

認証
外部クライアント証明書、設定　13-19
共有秘密情報、設定　13-16
クライアント証明書、設定　13-18
使用可能なオプション　13-19
説明　13-15

ね

ネットワーク アドレス変換
「NAT」を参照
ネットワーク タイム プロトコル、定義　3

は

バックアップと回復、データベース　10-6?10-8
パブリッシング、定義　3
パラメータ辞書　7-1?7-7
概要　7-2
カスタム　7-3
管理者のユーザ インターフェイス、使用方法　7-6
削除　7-7
置換　7-7
追加　7-6
表示　7-6
構文　7-4
スキーマ（図）　7-2
デフォルト　7-3

ふ

ファームウェア
アップグレード
強制実行　16-18
バイパス、例　6-16
管理メカニズム　6-2?6-5
直接的なファームウェア　6-5

ポリシーベース 6-3
説明 6-2
ファームウェア ルール テンプレート
Expression 6-9
オーサリング 6-8
構成体 6-14?6-16
内部、外部ファイル 6-11
例 6-13
ファイル、管理
管理者のユーザ インターフェイス、使用 17-13?17-17
ファームウェア イメージ 6-6
ファームウェア ルール テンプレート 6-6
ファイル サービス 6-5
プロパティ階層 4-4
プロビジョニング API、定義 4
プロビジョニング グループ
ACS URL、設定 3-8
DPE の追加 12-12
技術のワークフロー 3-8
冗長性 12-11
Cisco CSS、使用方法 12-14
Cisco CSS、設定 12-14
DNS ラウンド ロビン、使用方法 12-12
地域別 12-11
ハードウェア ロード バランサ、使用方法 12-12
ローカル 12-11
スケーラビリティ 12-11
説明 2-6
定義 4
デバイス、割り当て 4-13
自動的 4-13
明示的 4-13
明示的および自動的 4-14
デバイス障害、表示 8-8
プロビジョニング データ、パブリッシング
データストアの変更 17-22
プラグイン設定、変更 17-22
プロビジョニング フロー
初期設定
事前登録されたデバイス 4-11
登録解除されたデバイス 4-12
初期設定（図） 4-11

ま

マニュアル
構成 xiv
この製品に関連する～ xvi
対象読者 xiv
表記法 xv

め

命令
生成、定義 4
生成と処理の概要 4-6

ゆ

ユーザ
管理
削除 16-4
修正 16-4
追加 16-3
管理者 16-2
説明 16-2
読み取り / 書き込みユーザ 16-2
読み取り専用ユーザ 16-2
ユーザ、管理 16-2?16-4

ら

ライセンス キー、管理 17-18?17-19
DPE のライセンシング 2-5
ライセンスの修正 17-19
ライセンスの追加 17-19

ろ

ロード バランシング
Cisco CSS、設定 12-14
ロギング
BAC のアーキテクチャ、および～ 19-3?19-4
説明 2-8
ログ ファイル、サンプル 19-4
ログ ファイル、循環 19-5
ログ ファイルの表示
audit.log 19-6

dpe.log 19-9
perfstat.log 11-14
rdu.log 19-6
troubleshooting.log 8-12
ログ レベル、設定 19-4
ログ レベル ツール 19-6
現在のログ レベル、表示 19-8
使用方法 19-7
設定 19-7
ログのレベルおよび構造 19-3
ログイン、BAC への 15-3